

土木研究所 同時発表

平成 29 年 1 月 25 日
水管理・国土保全局 砂防部 保全課
国立研究開発法人 土木研究所富山県南砺市利賀村上百瀬地区なんとしとがむらかみもせの土砂災害に関して土砂災害専門家を派遣します(第 2 回)

平成 29 年 1 月 16 日に富山県南砺市利賀村上百瀬なんとしとがむらかみもせで発生した土砂災害に関して、富山県の要請により、1 月 19 日～21 日にかけて監視体制や応急対策について技術的助言を行うため土砂災害専門家を派遣したところです。

今回、富山県において堆積した土砂の流出による被害防止対策を検討するにあたり、技術的助言を行うため、土砂災害専門家を 1 月 26 日に再度派遣します。

1. 土砂災害専門家

国立研究開発法人 土木研究所 土砂管理研究グループ
雪崩・地すべり研究センター 上席研究員 石田 孝司
" 特任研究員 丸山 清輝

2. 調査日

平成 29 年 1 月 26 日(木)～27 日(金)

3. 派遣先

富山県南砺市利賀村上百瀬地区なんとしとがむらかみもせ(旧利賀村スキ一場)

4. 行程

日付	時刻	内容
1 月 26 日	14:00～16:00	現地調査(富山県南砺市利賀村上百瀬地先)
1 月 27 日	9:00～11:00	現地調査(同上)
	14:30～15:00	記者会見(富山県庁(富山市新総曲輪 <small>しんそうがわ</small> 1-7))

(天候等により、予定が変わる可能性があります。)

問 い 合 わ せ 先

□土砂災害専門家派遣について

国土交通省水管理・国土保全局 砂防部 保全課 課長補佐 石田 和典 (内線 36242)
TEL:03-5253-8111(代表)、03-5253-8469(直通) FAX:03-5253-1611

□土砂災害専門家の現地活動について

富山県 土木部 砂防課 砂防課長 吉柳 岳志 (内線 4150)
TEL:076-431-4111(代表)、076-444-3342(直通) FAX:076-444-4420

土砂災害専門家による現地調査(1月19日～21日)

なんとし とがむら かみももせ

平成29年1月16日15時30分頃に富山県南砺市利賀村上百瀬で発生した土砂災害において、応急対策工の留意点や上流部の監視等の技術的助言を行うため、土砂災害専門家が現地調査を実施。調査結果を富山県へ報告し、助言を行った。

■土砂災害専門家による調査結果



頭部滑落崖付近の状況 (1月19日撮影)



発生域末端付近の湧水と侵食 (1月19日撮影)



富山県職員との合同現地調査 (1月21日撮影)

【1月18～19日の調査と助言内容】

- ・旧スキー場の上部斜面には①地すべりによって形成された不安定土塊の存在、②背後からの小規模な崩落があること、③不安定土塊末端の湧水と侵食によるさらなる不安定化の可能性があること等を確認。
- ・再滑動した場合には、堆積域の土砂の押し出しやその上部を流下し堆積域が広がる可能性があるため、堆積域だけではなく発生域の土砂の動きにも注視する必要があることを助言。
- ・また、堆積域の土砂がさらに押し出してきた場合には、県が計画・施工している異形ブロックが押されたり乗り越える可能性もある。その場合には保全対象の手前で重機により土砂を除去するといった対応策も視野に入れておく必要がある。

【1月20日～21日の二次崩落後の対応】

- ・再度の現地調査により堆積土砂の範囲や規模を把握するとともに、考えられる対応策について助言を実施。